

# ほたから

(公社)神奈川労務安全衛生協会  
小田原支部  
小田原市本町2-3-24  
TEL 0465-24-1753  
発行責任者 支部長 寒竹重史  
編集 広報部会

## 支部長就任のあいさつ 及び令和8年度の活動について

かん ちく しげ ふみ  
小田原支部長 寒竹重史  
富士フィルム(株) 神奈川事業場



新緑の季節を迎え、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、令和8年4月より神奈川労務安全衛生協会小田原支部の支部長を拝命いたしました富士フィルム(株)の寒竹(かんちく)と申します。前任の小池支部長が築かれた堅実な基盤を引き継ぎ、会員の皆様の安全と健康を守るため、微力ながら全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

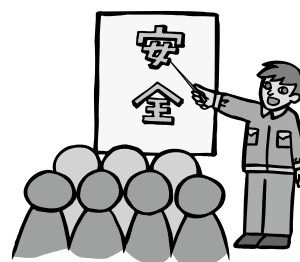
まず、令和7年度の小田原労働基準監督署管内における労働災害の状況についてご報告いたします。休業4日以上死傷者数は3月の暫定値で417件となり、新型コロナウイルス感染症の罹患者を除くと374件で、前年に比べ21件の減少となりました。一方で、死亡災害の発生件数は前年の3件から4件に増加しており、安全衛生の確保が引き続き重要な課題であることを示しています。

令和8年度は第14次労働災害防止計画の4年目にあたり、これまでの取り組みをさらに深化させる重要な年となります。第14次防初年度から重点課題として取り組んでいる「エイジフレンドリー」対応を引き続き支部活動の柱とし、高齢者の特性に配慮した作業環境の改善や作業管理を推進してまいります。令和8年2月に公表された「高齢者の労働災害防止のための指針」に基づき、従来のガイドラインを刷新し、事

業者の努力義務として具体的なアウトプット指標が示されました。これに対応した講習会や啓発活動を積極的に展開し、高齢者が安全かつ安心して働き続けられる職場づくりを支援してまいります。また、化学物質管理の自律的な推進や、テールゲートリフターの取扱い、熱中症予防管理など、法令改正に対応した新規講習会の開催を継続し、会員事業場の法令遵守と安全衛生レベルの向上に寄与してまいります。

令和8年度も引き続き「法令準拠型から自律的な管理へ」というメッセージのもと、小田原労働基準監督署との連携を強化し、労働災害の発生状況を的確に把握しながら、効果的な対策を講じていく所存です。

最後になりますが、小田原支部ならびに会員事業場の益々のご発展と関係各位のご健勝、そして今年度の無事故、無災害を祈念いたしまして、支部長就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。会員の皆様および関係各位のご理解とご協力を賜りながら、小田原支部のさらなる発展と地域の労働安全衛生の向上に努めてまいります。



## \* ❁ 着任のご挨拶 ❁ \*

小田原労働基準監督署

署長 田代克也



この度、4月1日付け人事異動で小田原労働基準監督署長を拝命した田代と申します。前任の本間同様、よろしく願いいたします。

公益社団法人神奈川労働安全衛生協会小田原支部及び会員の事業場の皆様におかれましては、日頃から厚生労働行政、とりわけ労働基準行政の推進に多大なるご理解とご協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

私の前任地は神奈川労働局安全課で主任産業安全専門官を勤めておりました。

小田原労働基準監督署は、私は3回目の勤務となり、1回目は平成16年に監督課監督官として1年、前回は平成26年から安全衛生課長を2年間勤めておりました。ですから私の顔を覚えている方もいらっしゃるかもしれません。

前回配属時は、小田原市浜町にある昭和チックな庁舎だったことを考えると、現在のきれいな庁舎で勤務できることは本当にありがたいと思います。

小田原労働基準監督署管内は、湯河原町、箱根町を中心とした観光地のみならず、巨大物流拠点、大規模な化学工業、研究施設、工業団地などがあるほか、新東名高速道路に関連する大規模工事が行われているなど、様々な業界の事業場があり、我々は、日々直面する行政課題に対応すべく、職員一同取り組んでまいります。

さて、わが国の経済状況を見ると、コロナ禍後の外国人労働者の急増や、ホルムズ海峡封鎖による産業活動への影響等、不安定な状態がある中、労働行政に目を向けると、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少という構造的な課題に直面し、物価の上昇に賃金が追い付いていないという状況にあります。

そのような中で、人手不足の解消、継続的な賃金の引上げ、多様な働き方の実現による持続的な成長と分配の好循環の流れを実現していくことが必要になってきます。

神奈川労働局では、「すべての人がいきいきと働

く神奈川を目指して]をスローガンとし、令和8年の重点施策として、「賃金引上げに向けた支援と非正規雇用労働者への支援」、「リ・スキリングの推進」、「人手不足対策」、「多様な人材の確保と魅力ある職場づくり」の4つの柱を中心とした取組みを推進していきます。

賃金引上げに向けた支援と非正規雇用労働者への支援は、労働市場全体の賃上げを支援する、「賃金引上げ助成金パッケージ」の周知を進めて中小企業の賃上げを支援していくほか、公正取引委員会や中小事業庁と連携して適正な価格転嫁、取引の適正化を徹底します。

魅力ある職場づくりの一つとして、「安全で健康に働くことができる環境づくり」を掲げ、長時間労働の抑制や過重な労働を原因とする健康障害を防止するための取組みを進めてまいります。特に自動車運転者における長時間労働の原因の一つである長時間の荷待ちに対しては、荷主との連携が必要であり、長時間の荷待ちを発生させないよう荷主及び運送業者の皆様にご要請を行ってまいります。

また、労働安全衛生法の改正に伴い、令和8年4月1日から、高齢労働者に対する労働災害防止の推進の努力義務化、個人事業者等に対する安全衛生対策の義務化などが施行されており、これら改正法の周知に努めてまいります。

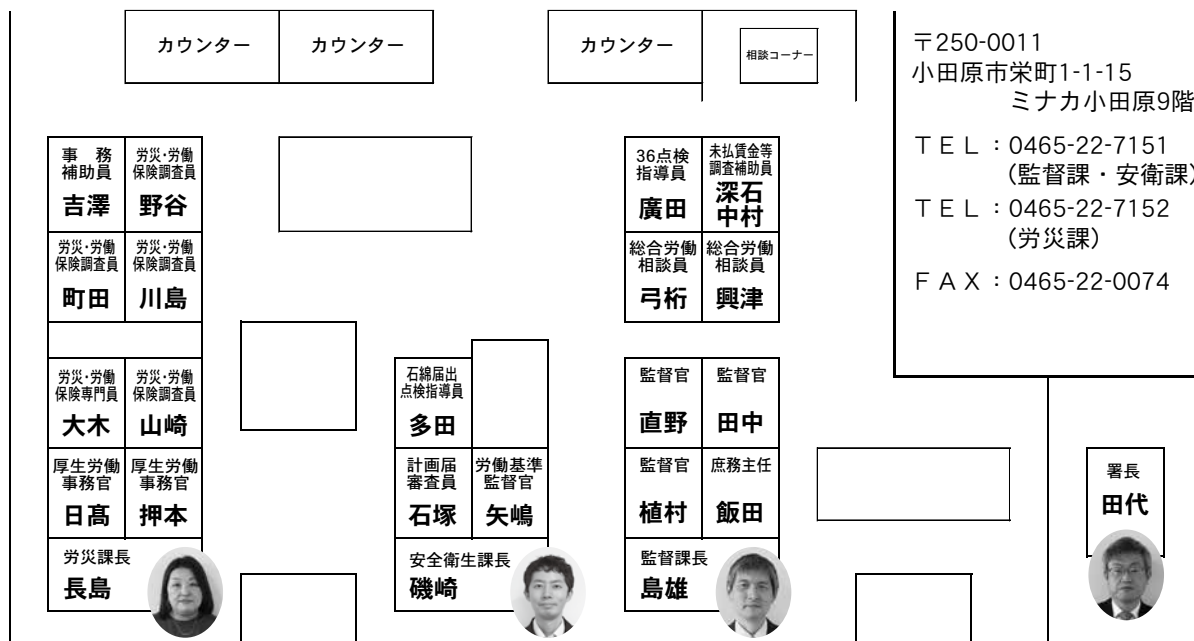
さらに、令和8年は令和5年を初年度とする第14次防推進計画の4年目となります。

小田原労働基準監督署管内における、新型コロナウイルス感染症を除く休業4日以上労働災害の発生件数は、令和7年は、暫定値で374人と、前年同期より21件(5.3%)の減少となっていますが、死亡災害は昨年の3人に比べて4人と増加しており、大変憂慮される状況です。労働災害の減少、死亡災害の撲滅のため、職員一丸となって取り組んでまいります。

そのためには、貴支部会員の皆様と一層の連携を図らせていただきたいと思いますと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりますが、貴支部及び会員事業場の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念して、着任の挨拶とさせていただきます。

小田原労働基準監督署 職員配置図 (R8.4.1)



〈各課主要業務〉

■監督課庶務係

- 賃金構造基本統計調査
- その他各種統計調査

■監督課監督係

- 適用事業報告
- 時間外休日労働に関する協定届
- 1ヵ月単位・1年単位の变形労働時間制に関する協定届
- 就業規則(変更)届
- 寄宿舎規則・寄宿舎設置届
- 労働条件等に関する相談

■安全衛生課

- 特定機械等の設置届・落成検査等
- 労働者死傷病報告
- 各種健康診断結果報告
- 安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告
- 労働安全衛生法等に関する相談

■労災課

- 労働保険各種届等
- 労働保険各種請求書
- 労働保険に関する相談

〜 県西地域産業保健センターからのお知らせ 〜

従業員数50人未満の事業者さまへ  
地域の産業医による意見聴取 健康相談 保健指導は無料の健康相談窓口をご利用ください

労働者が心身ともに健康で働き続けられるよう、事業場が行う労働衛生管理を支援するために、労働安全衛生法第66条に基づく健康診断実施後の意見聴取や保健指導、長時間労働者および高ストレス者の面接指導、メンタルヘルス不調者の相談や生活習慣病予防などを、県西地域産業保健センターでは、地域の産業医による健康相談を無料で行っています。

1. 健康相談窓口 利用時間 午後1時00分～ 予約制(原則1週間前までにご連絡下さい)
2. 相談日(令和8年5月から令和8年7月までの相談日は次のとおりです)  
5月8日(金) 5月14日(木) 5月21日(木) 5月27日(水) 6月3日(水) 6月11日(木) 6月17日(水)  
6月25日(木) 7月3日(金) 7月9日(木) 7月14日(火) 7月23日(木) 7月30日(木)

厚生労働省「産業保健活動総合支援事業」協力：小田原医師会 足柄上医師会

県西地域産業保健センター

〒250-0055 小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館4F

TEL : 0465-66-6040

E-mail : sanpo@kenseisanpo.jp

FAX : 0465-66-6044

ホームページ : <https://kanagawa.jphas.go.jp>



神奈川県産業保健総合支援センター  
県西地域産業保健センター HP URL

## 令和 8 年度 (公社)神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 功労賞

令和 8 年度 定時総会での表彰式



梶崎 俊彦 様  
日本製紙クレシア(株)開成工場



小川 政之 様  
(株)アグサ



府川 和弘 様  
日本インジェクタ(株)



加藤 夕貴 様  
花王(株)小田原事業場

## 令和 8 年度 新部会長、挨拶

今年度も積極的に部会活動を推進いたしますので、皆様のご支援、ご協力をお願いします。

### 安全部会



本年度は「高齢者災害防止」を最重要課題に掲げ、安全週間、危険体感、事業場労災調査も強化します。豊かな経験を持つベテラン層を中心に、身体の変化に寄り添い、生涯現役で安心して働ける職場を創りましょう。

部会長 三廻部 弘一

富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング(株)

副部会長 金子 勝彦 わかもと製薬(株)相模大井工場

部員 大澤 寛之、佐藤 暢彦、加藤 浩二、  
河野 誠、渡辺 均、寺内 実、佐山 勝之、  
西山 哲、須田 和哉、谷口 義法

### 労務部会



小田原支部会員数を増やす活動を継続していきますので、ご協力をお願いします。また、年始安全衛生祈願、経営者セミナー、労務管理セミナーを開催します。

部会長 鈴木 健一 (株)西山製作所

副部会長 松谷 陽介 パナック工業(株)足柄工場

部員 上田 努、石河 勇、菊川 哲郎、  
高橋 克則、木崎 庸雅、山田 幸弘

### 広報部会



役立つ情報を年 4 回の小田原支部だよりとして、企画・編集・発行していきます。

部会長 宇田川 浩幹

(株)カネカメディックス神奈川事業所

副部会長 尾藤 栄治 (株)ミクニ小田原事業所

部員 米山 英男、杉本 健二、東郷 憲太郎、  
細谷 誠治、大石 孝司、後藤 正臣

### 衛生部会



本年度も人生100年時代をキーワードに、心とからだの健康に関する情報を「衛生週間大会」、「健康保持増進セミナー」にて提供していきます。

部会長 石川 和広 ライオン(株)小田原工場

副部会長 川口 聖人 相日防災(株)

部員 青木 克樹、加川 由尚、伊藤 祐康、  
志村 明規、柏木 宣宏、松崎 勝彦



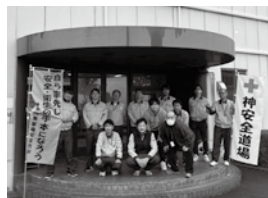
## 小田原支部会員事業場における安全活動紹介

### 体感が行動を変える — 富士フィルム 神奈川事業場 安全道場開場

富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社は、労働災害を未然に防ぎ安全文化を根付かせるために、現場主導の新たな安全教育拠点「安全道場」を開設しました。ここでは、VRや体感機具を活用した危険体感教育と、KYTや指差呼称などの実践的な訓練を組み合わせ、「危険に気づき、止まり、声をかける」行動の習慣化を推進しています。運営は安全担当と各職場から選抜された認定指導者が担い、職場単位で継続的に展開しています。富士フィルム本社から製造委託を受け連携のもと、現場の実態に即した教育プログラムを設計・運営しています。

#### ポイント

- ・現場が主体となって安全教育を設計・運営
- ・危険体感教育、KYT教育、指差呼称教育など、体感により気づきを与え行動に定着
- ・リーダー層を指導者として育成し、教育と併せて意識向上も図る



安全道場メンバー



安全の門

#### 安全道場のコンセプト

職場ごとのリスク低減サイクルを回しながら、誰もが継続的に学べる仕組みを整備しています。内容は現場の声を反映し、随時アップデートしています。安全道場は「安全度を高め、基本行動を当たり前にする」ことを狙い、次の4点を柱にしています。

基本の理解：不安全状態に気づくための基礎を学ぶ  
 危険体感：疑似体験で災害の怖さを“自分ごと化”する  
 危険予知：潜在リスクを見つけ、作業前に立ち止まって考える  
 指差呼称：確認行動を再定着し、ミスを未然に防ぐ

#### 導入コンテンツと教育プログラム

- ①基本教育：安全の基本を学び、現場を見る目を整える
- ②危険体感教室：VR・体感機具でリスクを疑似体験し、注意点を具体化する
- ③危険予知強化：マネキン訓練等で災害要因を分解し、リスク抽出力を高める
- ④KYT／指差呼称：作業前確認と声かけを徹底し、漫然作業を防ぐ



①基本教育エリア



②危険体感VR



③危険予知強化教育



④KYトレーニング

#### 教育方針



#### 現場で見られた行動の変化

- ・「守る→止める→確かめる」が現場の基本動作として浸透
- ・危険体感を契機に、危険の言語化と具体的な声かけが増加
- ・動線・保護具・表示・手順などの“当たり前”を見直す改善提案が増加
- ・学びの持ち帰り→実践→共有の横展開サイクルが定着

#### 運営体制（認定指導者制度）


各部門から任期2年の認定指導者を選出しており、現場リーダーを中心に職場単位で教育を展開しています。

#### 効果

開設後、労働災害は減少傾向となり、「気づいたら声をかける」「作業前に止まって確認する」などの基本行動が日常に根付き始めました。指差呼称・作業前確認の実施、通行ルール順守、危険ポイントの指摘と是正など、自律的な安全行動が増えていきます。

#### 今後の展望

今後の展望としては、VRコンテンツのさらなる拡充や他社視察、資格取得の機会を積極的に取り入れ、現場のニーズに応じて研修内容や安全対策を柔軟に更新していきます。これにより、安全に対する感度の向上と自律的な安全行動の定着を継続的に推進し、労働災害のさらなる減少を目指していきます。


**事務局だより**

事務局長 鎌田 光郎

4月17日(金)令和8年度定時総会が行われ新年度がスタートしました。本年度も法定技能講習を中心にタイムリーな課題を取り上げた教育セミナーを企画します。多くの参加をお待ちしています。

**< 5月～7月開催講習会 >**

- |  |  |
|--|--|
| * 化学物質管理者選任のための研修<br>・ 5月12日(火) 青色会館                 | * 保護具着用管理責任者のための研修<br>・ 6月29日(月) 青色会館                  |
| * 職長教育<br>・ 5月25日(月)、26日(火) 青色会館                     | * 衛生推進者養成講習会<br>・ 7月1日(水) 青色会館                         |
| * フルハーネス型墜落制止器具特別教育<br>・ 5月28日(木) 青色会館               | * 新KYT基礎実践研修会<br>・ 7月7日(火) 青色会館                        |
| * 安全衛生推進者養成講習会<br>・ 6月2日(火)、3日(水) 青色会館               | * 粉じん作業特別教育<br>・ 7月9日(木) 青色会館                          |
| * 全国安全週間 小田原地区推進大会<br>・ 6月5日(金) 青色会館                 | * 熱中症予防管理者教育<br>・ 7月14日(火) 青色会館                        |
| * 安全管理者選任時研修<br>・ 6月9日(火) 青色会館                       | * 玉掛けの業務に係る特別教育<br>・ 7月22日(水) 青色会館                     |
| * 熱中症予防管理者教育<br>・ 6月11日(木) 青色会館                      | * テールゲートリフターの操作の業務に係る特別教育<br>・ 7月24日(金) 小田原ガス          |
| * 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習<br>・ 6月16日(火)、17日(水) 青色会館 | * リスクアセスメント研修会<br>～自律的な化学物質管理導入に向け～<br>・ 7月28日(火) 青色会館 |
| * 有機溶剤業務従事者に対する労働衛生教育<br>・ 6月19日(金) Zoom オンライン       | * 研削といし(自由研削用)の取り替え等の業務に係る特別教育<br>・ 7月31日(金) 青色会館      |
| * 危険体感講習会<br>・ 6月23日(火) 富士フィルム研修センター                 |  |
| * クレーンの運転の業務に係る特別教育<br>・ 6月26日(金) 青色会館               |  |

## 散 歩 道

年々体重が増加し、腰痛は悪化し、五十肩?にもなってきた。毎日腹筋、背筋をやり、会社にて始業時ラジオ体操をやり、通勤でもそれなりに歩いている。これ以上どうすればよいのか、まだまだ運動量が足りないのか、それとも食べ過ぎか?

話は変わるが、春と秋のいい季節には堤防釣りや船釣りを楽しみ、冬にはワカサギ釣りに出かけていた。しかし最近では春も秋もなくなり、堤防で釣りをしても昔より釣れなくなった気がする。そこで最近では小さな家庭菜園を始めた。

春夏はトマトやキュウリ、ゴーヤなど、日々実が大きくなるのを見るとテンションが上がる。釣りもそうだが、自分で釣ったり、育てたものを食べるとおいしい気がする。ふと気づくと自分の趣味は最終的に食べることにつながる。自分は食いしん坊なのだろうか。体重増加の原因はこれか? (広報部会 後藤正臣)



ワカサギ



沼津海岸の堤防にて